

第九回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：茜

【日時】

1月30日(木) 10:00~12:00

【場所】

荒川区役所 305 会議室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：その他

ステップ2：提言書の確認

ステップ1：はじめに

コンサルタントより、2月5日の提言報告会と提言書の説明がなされた。

ステップ2：提言書の確認

提言書に関して、意見を出し合い、話し合うことにした。

【提言書(概要版)について】

- 表紙の樹木の幹のところを「行政」、「区民」、「事業者」と分けているが、「区民」と「事業者」の区別がわからない。「区民」と「事業者」は一緒だと思うので、事業者をあえて分けて書く必要はないのではないか。
- 「事業者」に何か特別な役割を期待している項目がないのに、1/3 が事業者になっているのは疑問だ。

【行政体制分野について】

- 行政の指導者は区民の目線に立ってほしい。懇談会を開いているので、たまには区長と直接話をしてほしい。
- 荒川区には、松戸市の「すぐやる課」のような部署はないので、行政側から積極的にサービスを行うような部署があれば良いと思う。
- 自分の母が倒れた時の荒川区の対応はとても早かった。倒れた当日に福祉担当者が自宅に訪問してくれた。
- 週に一回、区長室を開放することや、まちの中のいろいろなところに出かけて行って、タウンミーティングのような会合を行うことなど、区長自らも積極的に区民の目線に立てるような行動を見せてほしい。
- 荒川区の状況が時代によって変わっていったとしても、継続性は大切である。その部分を忘れないようにしていくべきである。
- 区役所の職員には荒川区が好きという愛情を持って仕事をしてほしい。
- 区民の声を反映させるために議会があるのだろうが、形式化しているような感じがする。
- 議会を活性化するためには、行政側の助けも必要である。

【生活・環境分野について】

- 空き地や住宅の植栽と塀などに、ごみを投げ入れる人がいる。ルールを無視している人に憤りを感じる。
- ディズニーランドの園内をきれいにするお掃除係のように、常にまちをきれいにする人がいて、ごみを捨てたらすぐに掃除をするようにすれば、ごみを捨てる人も捨てられないようになり、まちもきれいになるかもしれない。
- ヒートアイランド対策のために、路地裏のアスファルトをはがし、校庭を土に戻してみてもどうか。
- タバコのポイ捨てや歩きタバコに関して、ルールや罰則を厳しくしても良いが、吸う場所も与えてほしい。
- 環境問題に関しては本気の姿を見せることが必要ではないか。例えば、区内のビルに太陽熱エネルギーを利用できるような設備を設置するなど、強い意志を示していくべきである。
- 電車の中などの公共の場所で、まるで自分の部屋のように地べたに座ったり携帯を使ったりなどしている人をよく見かける。TPO を考えて、行動することがなくなってきているのは、非常に残念である。
- 人の痛みなどを理解する力を育まなければならない。

【子育て分野について】

- 区内の乳幼児の医療費援助があれば良いと思う。
- 少子化だからこそ、未来を担う子ども達が立派に育つようにすることが必要である。
- 提言書(案)の中の「双子」は「多胎児」に修正した方が良い。
- 子どもに対する躰を忘れている親が多い。大人をまじえた躰の問題は重要である。やはり、親になるため教育をどこかで充実させていく必要がある。
- 親だけではなく、地域社会が子どもを育てていくようなまちになれば良いと思う。

【安心・安全分野について】

- 自転車道を整備し、歩行者、自転車、自動車の通行スペースの分離を図ったらどうか。荒川区で自転車対策の見本のようなものができたら良いと思う。
- 標識に関して不備があり、警察に連絡をしたら、すぐに対応してくれた。
- 一般の区民は何か問題があった場合、どこに相談すれば良いかわからないので、区役所に行けば、すぐ対応してくれるようなシステムがあれば良い。
- 防災無線は、地域によって聞こえづらい所がある。区内隅々まで聞こえるように整備してほしい。
- 不審者メールは警察での申し込みが必要だが、意外と知られていない。もっとPR が必要である。
- 防災無線や不審者メールで情報は得られるが、結末が不明である。事件の情報を聞くと不安になるので、捕まったかどうか知りたい。
- 自分の子どもが産まれて、すぐにダイレクトメールが来た。個人情報の管理は徹底的にする必要がある。
- 若者がまちの防犯のために活動する、荒川版「ガーディアンエンジェル」も盛り込んでほしい。

【コミュニティ分野について】

- 近所づきあいは必要であるが、一戸建ての住民とマンションの住民が分かれてしまう。互いに住民同士のつながりができれば良いと思う。
- 子ども達が、通学路の途中にある高齢者のお宅に気軽に立ち寄れるような雰囲気づくりが必要である。
- 「人と人との距離感」がわからなくなっているのではないかと思う。このことに危機感を感じる。教育にも関連してくるが、人と人との距離、人間として尊重しあうことを様々な場面で学べるようになると良い。

【産業分野について】

- 荒川区は高齢者が多い。高齢者の雇用に関して、ワークシェアリングの見本となるものをつくれたら良いのではないか。
- 区の産業を活性化するために、荒川区は起業をしたい人に対する支援を行っているが、同じ形ではなくとも、それぞれの時に応じて工夫を交えながら、引き続きやってほしい。
- 産業の活性化のためには、雇用を増やし、ほとんどの人が働いているという状態にする事が重要だと思う。そのために、雇用に関する事を提言書に記載した方が良いのではないか。

【都市基盤分野に関して】

- 荒川区の交通網は発達しているが、荒川区内を回遊・横断するような交通網は発達していないように感じる。荒川区にもコミュニティバス「さくら」があるが、まだ経路が少ないと思うので路線延長を考えてみてはどうか。

ステップ3：おわりに

【提言報告会の日程について】

日程は2月5日(日)10:00より

以上